

<p>請願番号</p>	<p>請願第29号</p>	<p>受理年月日</p>	<p>平成24年11月28日</p>
<p>請願の件名</p>	<p>ゆとりをもって子どもとふれあえるよう、教職員の増加を求めるとともに、障害の多様化に応じた手厚い人員配置を求める請願</p> <p><u>請願項目と趣旨</u></p> <p>ゆとりをもって子どもとふれあえるよう、教職員を増やしてください。障害の多様化に応じた手厚い人員配置をしてください。</p> <p>《請願の趣旨》</p> <p>宮崎県では、現在小学校1年生と2年生については30人学級が実施され、成果も上がってきていると思います。しかし、30人学級のための教職員を増やさずに行なっているため、専科教員が減らされてます。専科教員は、音楽や理科や図工などの専門的な教育を担っているだけでなく、出張や休暇などで指導教員が不在となる時間を保障する教員としての役割も担っています。</p> <p>また、高学年と低学年の担任の授業時数のバランスをとるという意味も持っています。専科教員が少なくなるということは、専科教育が手薄になると同時に、高学年の教員の負担が増大します。また、休暇のとりづらい状況も生まれ、病気による休職者も増えています。</p> <p>教職員を増やしてゆとりある教育ができるようにすることが必要です。</p> <p>小中学校では、児童生徒の約6%が発達障害等があるとされています。各学校にはコーディネーターが配置され、必要に応じて支援員がおかれています。しかし、多動性のある子どもや、車いすを使う子どもなどの支援におわれ、LD（学習障害）やコミュニケーションをとるのが苦手な子どもたちへの支援はほとんど行われていません。学校に一人の支援員ではなく、支援の必要な子ども一人一人へ支援ができるよう人員配置をお願いします。</p>		
<p>紹介議員</p>	<p>前屋敷恵美  凶師 博規  鳥飼 謙二</p>		
<p>摘要</p>			